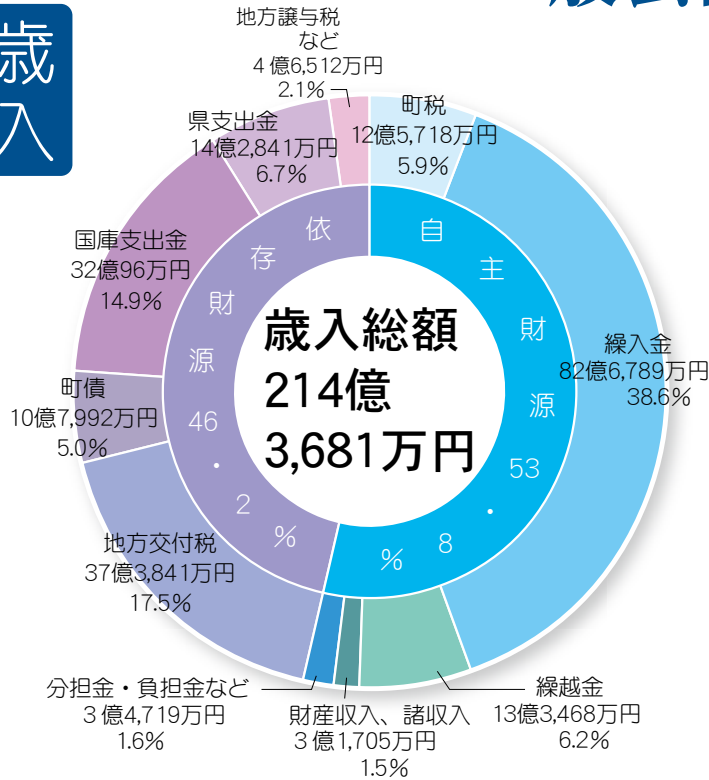


一般会計

令和2年度

歳入

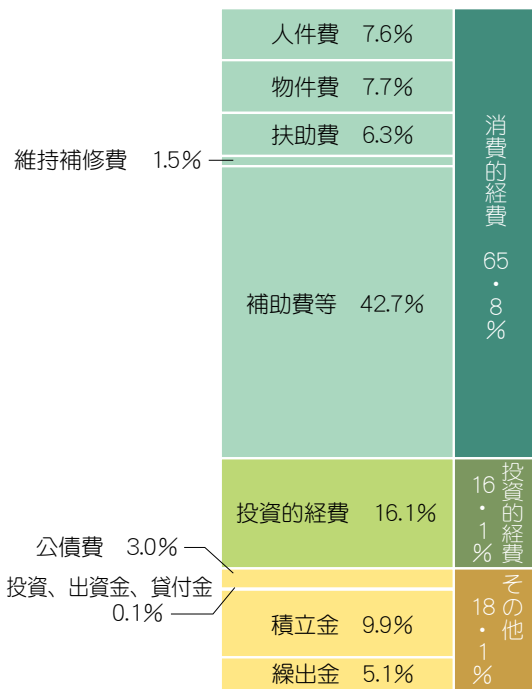


・令和2年度山田町歳入歳出決算書から集計(四捨五入により合計が合わない場合があります)

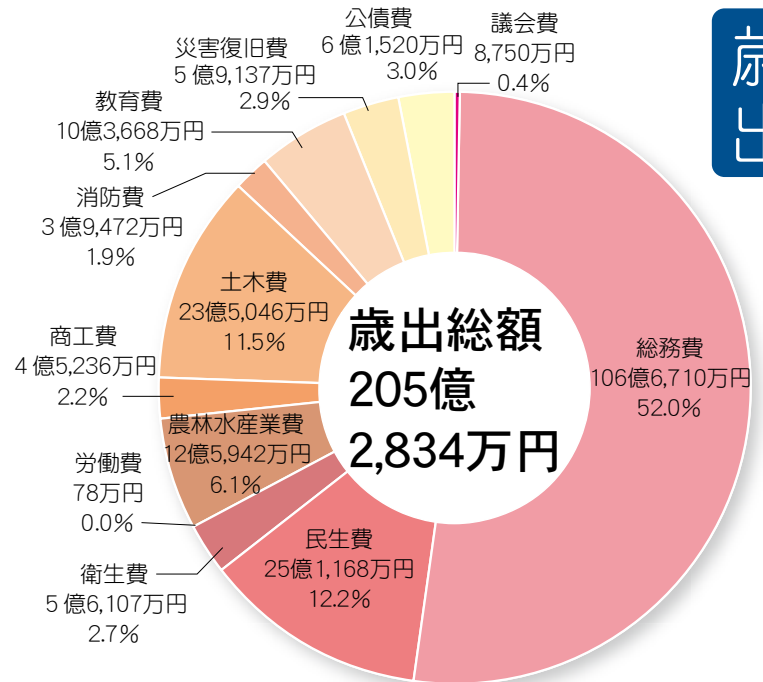
決算

「まちの家計簿」とも言える令和2年度の決算がまとまりました。町では、皆さんが納める大切な税金などを財源に各種事業を進めています。決算はその使い道を示すものです。一般会計と6つの特別会計の決算の概要をお知らせします。

図1 歳出の性質別決算額構成比



歳出



歳入は前年度比12億円の増

歳出は総務費がトップ

令和2年度の一般会計の歳入(町に入ったお金)総額は214億3681万円で、前年度比5.9割の増でした。性質別に見ると、町が独自に確保できる町税や繰入金など自主財源は全体の53.8割を占めています。一方、国や県から配分された補助金や町が資金調達のため政府や銀行から借りた町債などの依存財源の割合は46.2割となっていて、前年度と比べると4.6割増える結果となりました。項目別では、繰入金が最も多く82億6789万円、歳入全体の38.6割を占めています。完了した復興事業の精算などに伴い、使わなかった交付金の返還が生じたことなどから、復興交付金事業管理運営基金からの繰入金が多くなりました。

歳出(町が各種事業などに使ったお金)の総額は205億2834万円で、目的別に見ると、最も多く支出されたのが総務費で106億6710万円、前年度比は133.6割の増と伸び率もトップ。東日本大震災復興交付金の返還が生じたほか、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策での特別定



「埋蔵文化財収蔵庫」が完成。復興事業に伴う発掘調査で得られた出土品などを保存、管理します

写真で見る 建設事業



災害復旧などを進めてきたオランダ島。遊歩道や砂浜の整備が完了し、町の観光資源が復活しました

特別会計の決算状況

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う必要がある場合に、一般会計と区分して経理をするため、条例で設置しているものです。

特別会計で管理することで▶受益と負担の関係や事業ごとの収支をより明確にすることができる▶適正な受益者負担、事業収入の確保や歳出削減努力を進めることができる——などのメリットがあります。

本町の特別会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険（事業勘定）、介護保険（サービス事業勘定）、漁業集落排水処理事業、公共下水道事業の6会計です。

各特別会計の主な支出

- ▶国民健康保険 保険給付費16億652万円
- ▶後期高齢者医療 広域連合納付金1億7,351万円
- ▶介護保険（事業勘定） 保険給付費16億9,144万円
- ▶介護保険（サービス事業勘定） 居宅介護支援事業費198万円
- ▶漁業集落排水処理事業 大浦排水処理区事業管理費1,250万円、大沢排水処理区事業管理費2,099万円
- ▶公共下水道事業 山田地区下水管渠布設工事費4億4,470万円、前須賀中継ポンプ場災害本復旧委託料1億5,994万円

◆特別会計の決算額

名 称	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	23億646万円	22億3,070万円
後期高齢者医療	1億8,438万円	1億8,418万円
介護保険（事業勘定）	19億2,303万円	18億2,286万円
介護保険（サービス事業勘定）	346万円	256万円
漁業集落排水処理事業	1億4,772万円	1億4,583万円
公共下水道事業	8億8,915万円	8億8,693万円

◆主な事業の決算額（単位：万円）

議会費	議員報酬3,724 議会だより印刷製本費186
総務費	長期派遣職員人件費負担金15,694 山田町復興記録誌制作業務委託料1,502 定期路線バス運行事業委託料3,084 復興交付金返還金531,801 緊急経済対策費24,343(事業継続給付金18,430、プレミアム付商品券事業費補助金3,371など) 特別定額給付金151,820
民生費	社会福祉費145,994(災害援護資金貸付金2,100、重度心身障害者医療費給付費2,457、障害福祉サービス給付費41,147、老人保護措置委託料2,416など) 児童福祉費91,935(民間保育所運営委託料48,237 乳幼児児童生徒妊産婦医療費給付費2,577など)
衛生費	定期予防接種委託料2,761 各種検診委託料2,000 やまだ斎苑管理運営業務委託料1,109 宮古地区広域行政組合（衛生関係）負担金19,790
農林水産業費	農村地域復興再生基盤総合整備事業負担金3,345 水産業経営基盤復旧支援事業費補助金56,766 織笠漁港施設機能保全工事費9,210 大浦地区漁業集落防災機能強化事業工事費9,210
商工費	ふるさと納税返礼用特産品代3,791 ふるさと納税推進業務委託料1,889 地域なりわい再生緊急対策交付金1,844 新たな観光拠点整備基本設計等業務委託料2,999 オランダ島整備工事費13,353
土木費	町道維持補修工事費12,667 豊間根地区排水路整備工事費14,233 長崎地区町道路肩改良工事費10,375 織笠地区震災復興町道舗装補修工事費17,740 被災者住宅再建支援事業補助金20,150
消防費	宮古地区広域行政組合（消防関係）負担金29,033 第7分団消防ポンプ自動車購入費2,299
教育費	小学校費11,690 中学校費14,277 幼稚園費6,105 埋蔵文化財収蔵庫建設工事費16,038 鯨と海の科学館管理委託料1,474
災害復旧費	農林水産業施設災害復旧費6,523(農林業5,365、水産業1,158) 土木施設災害復旧費49,324
公債費	町債償還元金56,306 町債償還利子1,994

額給付金給付事業が盛り込まれたことなどが主な増額の理由です。次に多いのが民生費で、25億1,168万円が充てられました。この中で障害福祉サービス給付費などの社会福祉費に14億5,494万円、民間保育所運営委託料などの児童福祉費に9億1,935万円が使われました。

投資的経費24・9割減に

一般会計の歳出を性質別に分けたものが2ページの図1です。公共施設の建設や災害復旧などに使われた投資的経費の割合は全体の16・1割で、前年度に比べ、24・9割の減少となりました。これは、山田地区都市再生区画整理事業や学校給食センター建設事業の完了などによるものです。消費的経費は65・8割、そのうち各種機関や団体などへの負担金、補助金を支出する補助費が42・7割で、前年度に比べ19・1割増加しました。

◆◆◆◆◆

令和2年度は、復興計画が最終年度を迎え、震災復興後の新たな町づくりへと移行していくための締めくくりの年でもありました。年々厳しさを増す財政状況の中、より一層の経費節減に努めながら、複雑多様化する行政需要に対応した町づくりが求められています。